

渡邊ゼミ

『人の悩みをどう聴くか、
人の心をどう理解するか』

Profile 渡邊 孝憲 (わたなべ こうけん)
茨城県出身 現在、茨城キリスト教大学教授 (心理学)



私の方針

『話したくない人・話せない人に話すことを強要しないこと』
話したくない人・話せない人でも必ずいろいろ考えていて変化が起きている。
学んだら何らかの変化がおこるということこそ大切だと私は考えています。

概要

カウンセリングの本質は、クライアントの話を徹底的に聴き、理解することである。それを通してクライアントは自分で生きていくことを学ぶのである。話を聴くこと、相手を理解すること、そのためにカウンセラー自身が自己理解をすること、これらの難しさを身を持って実感する機会にしたい。

計画

ロジャーズの来談者中心療法について文献を読み、実際の面接のビデオを見て、それがどのように現れているか点検する。次に、筆者の師、佐治守夫のビデオを見てロジャーズと比較しながら、カウンセリングにとって大切なことは何かを学ぶ。時間があればロールプレイを行い、話を聴くことの難しさを実感する。

日程

毎月いずれかの土曜日 13時～15時
(閉所日や授業日の場合には変更あり)
〈2020年度日程〉

4月25日・5月9日・6月20日・7月11日・8月8日・9月19日・
10月24日・11月14日・12月12日・1月9日・2月20日・3月13日

メッセージ

カウンセリング流行りである。なぜだろう。カウンセラーに訊けばどのように生きたら良いのかわかるという幻想があるのかもしれない。しかしそれは錯覚である。人は誰も人間がどう生きたらよいのか決して知らない。このゼミではカウンセリングとは何なのかを根本から考えたい。

21 Sept. 2019

